

みなみ公民館だより 5月号

(令和5年5月8日発行) No.403

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055・FAX 048-443-0761



いもっ子クラブ活動報告

第1回目の3月11日(土)は、じゃがいもの植え付け、第2回目の4月8日(土)は、とうもろこしと枝豆の種まき、第3回目となる5月13日(土)は、さつまいもの苗の植え付けをします。今は実り多き収穫を願って、作物の種まきや植え付けをがんばっています。

6月はじゃがいもの収穫、7月はとうもろこし・枝豆の収穫です。楽しい収穫までは、あともう少しといったところです。



講座のご案内

◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 5月13日(土) 午前10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 市内の小学生～高校生

※事前にお申込みが必要です

◆おはなしくまさん

日時 5月20日(土) 午後2時～

会場 南公民館 3階集会室

内容 絵本の読み聞かせや工作

※今回は「外あそび」です。

◆にこにこ ONE TWO KIDS!

日時 5月18日(木)

午前10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者

定員 8組(先着順)

申込 5月1日(月)～ 電話・メール可



◆0歳児ママのふれあい広場

日時 5月25日(木) 午前10時～

場所 南公民館 2階和室

内容 ふれあいあそび

定員 10組(先着順)

申込 5月1日(月)～

電話・メール可

※赤ちゃんの下に敷くバスタオルをご持参ください。



【公民館利用団体の皆様へ】公民館利用団体届等の提出について

◎提出書類

(1) 全ての団体にご提出いただく書類

① 蕨市社会教育関係団体活動届出書 または 公民館利用団体届出書

② 会員名簿

(2) 変更があった場合に、(1)に添付する書類

① 会則、規約(改正があった場合)

② 蕨市社会教育関係団体内容変更・取消届 ※社会教育団体のみ

(代表者等の変更や登録取消がありましたら、随時ご提出ください。)

◎提出期限 令和5年7月末を目途にご提出をお願いいたします。

蕨市立くるみ保育園 ～ 新年度スタート！

園長 加藤 綾子

暖かな春の陽気とともに、くるみ保育園の新しい一年がスタートしました。

新入・進級園児たちは、ちょっぴり緊張した様子でしたが、2～3週間が経ち少しずつ緊張もほぐれ、笑顔が見られるようになってきました。

新入園児には、保育園は楽しいところと思ってもらえるように・・

進級児は、昨年度までの子ども達一人ひとりの育ちを大事に今年度につなげて保育を進めていきたいと思えます。

一年間どうぞよろしくお願い致します。



蕨市立第一中学校けやき学級 活動報告

春の暖かい風に包まれ、いよいよ新学期が始まります。今年度のけやき学級は、3年生3名、2年生2名、1年生2名の計7名でスタートします。生徒は、期待に胸をふくらませながら、生徒は進級、進学喜びに満ちあふれているかと思えます。生徒が元気いっぱい勉強や運動に頑張っていけるように、今年度も生徒の将来の自立や目標に向かって前向きに、粘り強く挑戦していけるように教職員一丸となって取り組んで参ります。

地域のみなさまには、いつもけやき学級を温かく見守っていただき、ありがとうございます。色々な場面でお力をお借りすることがあるかと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

河鍋暁斎記念美術館 2023年5月展覧会

企画展「御上洛東海道」シリーズ出版160年記念 暁斎の「東海道」展 同時開催 特別展『狂斎画譜』の世界」展

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2023年5月1日（月）～6月25日（日）

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円

文久3年（1863）、徳川幕府第14代将軍・家茂（いえもち）が江戸から東海道を通過して京都へと向かいました。この将軍上洛にちなみ、総勢16名の絵師が作画した合作錦絵「御上洛東海道」に、暁斎（当時は「狂斎」、「周磨」）も参加しました。本年はこのシリーズの出版からちょうど160年目にあたることから、暁斎が「東海道」を描いた作品を中心に展示しています。

また特別展では、万延元年（1860）に暁斎が描いた川柳絵本集『狂斎画譜』をパネル展示によりご鑑賞いただきます。

【 今月のお勧め作品 】

東海道名所之内 那智ノ瀧 暁斎（落款：応需周磨）

文久3年（1863） 大金板 大判錦絵

「御上洛東海道」シリーズのうち、現在の和歌山県に流れる那智川中流にかかる「那智の滝」を描いた作品です。「那智の滝」は日光の華厳の滝、茨城の袋田の滝と並び、「日本三大瀑布」と称されます。本図では、熊野那智大社の社殿にまでしぶきが掛かるかというほどの迫力で描かれています。なお将軍家茂は御上洛の往路は紀伊半島、復路は紀伊大島に上陸しましたが、「那智の滝」に立ち寄ったという記録はありません。本図は紀州藩出身の家茂にちなんで、ゆかりの名勝地を描いた作品なのかもしれません。

